



社会的な見方や考え方ははぐくむ 中学校社会科授業

～マスメディアの役割について考えよう～

兵庫県神戸市立星陵台中学校 井上昌善

1 はじめに

平成20年度学習指導要領改訂により、各教科において、言語活動の充実が求められている。言語活動を通して、何を、どのようにはぐくんでいくかが、教育現場で働く授業者への課題といえる。

では、言語活動を通して、社会科という教科でしかはぐくむことができない力とはどのようなものなのか。社会科における言語活動を取り入れた授業に関して示唆に富むのが、岩田一彦や米田豊の論稿である。米田豊は、言語活動における「言語力」に着目し、その育成方法について次のように整理している¹⁾。

- i 社会的事象についての各種資料から必要な情報を集めて読み取る。
- ii 社会的事象の意味、意義を解釈する。

iii 社会的事象の特色や社会的事象間の関連を説明する。

iv 社会的事象についての自分の考えを論述する。

つまり、社会科における「言語力」とは、資料に関して、読み取る力、解釈する力、事象の関連を説明する力、資料にもとづいて考えを論述する力であるといえる。このような「言語力」の育成などに関する言語活動の充実を通じて、社会的事象についての社会的な見方や考え方ははぐくんでいくことができる。

社会的な見方や考え方とは、社会的事象についてより説得力をもって説明するために必要となる理論であり、質の高い知識のことである²⁾。上記 i～iv を参考に、社会的な見方や考え方ははぐくむための方法を具体化したものが下記の表である。

授業では、何らかの社会的事象に関する資

【社会的な見方や考え方ははぐくむための方法】

言語活動	言語活動の内容	問い
①読み取り 資料を読み取ること	グラフや表、新聞記事、写真、文献を正確に読み取る活動 資料内容を記述する活動	「資料からあなたは何が読み取れますか」 What の問い 記述的知識
②解釈 社会的事象の意味、意義を解釈すること	資料に示される社会的事象の意味、意義を解釈する活動 社会的事象の意味、意義を記述する活動	「資料からあなたはどのようなことが解釈できますか」 How の問い 分析的知識
③説明 社会的事象間の関連を説明すること	複数の社会的事象について、原因との間の因果関係や理由との間の目的手段関連のような事象間の関連を、概念を用いることで記述する活動	「なぜ、このようになっているのですか」 Why の問い 説明的知識
④論述 自分の意見をまとめ、論述すること	社会的事象について、根拠をもって自分たちの考えや意見をまとめ、論述する活動	「あなたは（このことについて）どのように考えますか」 規範的知識

料を①読み取り，②解釈し，③説明し，④論述するという学習活動を行うことになる。これに伴い，授業の展開のなかで，授業者は生徒に対して，その資料に関して「何が」，「どのようなことが」，「なぜ」，その資料にもとづく「どのように考えるか」という発問を行っていくことになる。

以上のことをふまえて，本稿では社会的な見方や考え方をはぐくむことをめざす社会科の授業モデルを示す。これによって，具体的な授業のなかで，どのようなはたらきかけを生徒に行うことが，有効な方法といえるのかを明らかにしていきたい。

2

授業実践について

(1) 学習教材について

今回，授業で中心に取り上げた学習教材は，「マスメディア」である。『社会科 中学生の公民』（以下，教科書）には，「世論とマスメディア」というタイトルで，記載されている。「世論」という概念は，抽象度が高いため，授業者には具体的な説明や具体性をもって生徒が理解するための発問などが求められる。このように世論は，授業での取り扱いが難しい傾向にあるため，生徒にとって，より身近なものであるマスメディアという大衆向けの情報発信装置を授業の中心教材として設定した。マスメディアは，特定の情報発信者が，不特定多数の情報受信者に対して情報を流すために使用されるものである。マスメディアに関して，教科書には次のような記述がある。「有権者が，政党や政府が公約を守り，世論に沿った政策を実行しているかどうかを見守るとき，その活動を伝える」「マスメディアの活動によって，世論を政治

に反映することが可能になります」
（教科書p.74より）

この教科書の記述内容から，マスメディアについて次のように整理することができる。

- ①有権者が，世論が政治に反映されているかどうかを，確認していくために必要なものである。
- ②政党や政府がどのような政策を行っているのかという情報を知ることができるものであることから，人々の知る権利を保障するために重要な役割を果たしているものである。
- ③かたよった情報が発信されたり，統制されたりすると，人々はかたよった情報を得ることになり，これによりさまざまな問題を引き起こす可能性があるものである。

①については，マスメディアは，ただ情報を発信するためのツールではなく，有権者に対して現在の政治の動向を伝え，説明する役割を担っていることを示している。

②と③については，マスメディアには光と影の両面性があることを説明するものである。つまり，マスメディアは，人々に情報を発信することで，知る権利を保障するために重要な役割を果たすものであるが，かたよった情報が流されることで，さまざまな問題を起こしうるものといえるのである。

これまでのマスメディアについての考察をふまえて，授業では，マスメディアが，社会のなかでどのような役割を果たしているのかを考察させていく。世論が形成されること，世論が政治に反映されることで社会の動向が決定していくことを，歴史で学習した内容をふまえて検討させる。このような学習を通して，生徒のマスメディアについての社会的な見方や考え方をはぐくみたい。

(2) 本時の主題

マスメディアの役割について考えよう。

(3) 本時の知識目標

『マスメディアは、世論を形成し政治に反映させるものであり、政治のあり方を決定していくものである。』ということを理解している。

(4) 本時の展開

本授業は、マスメディアに関する社会的な見方や考え方ははぐくむことをねらいとしている。そのために、マスメディアの役割に着

目して、選挙に関する新聞記事の内容について検討したり、マスメディアに関する問題について歴史的に考察したりする学習を行った。

導入部は、発問を通じて生徒のマスメディアについてのイメージを表現させ、本時のテーマについて把握していった。テレビや新聞など生徒の身近に存在している情報発信装置の実物を提示することで、マスメディアという抽象的な用語についてイメージをもたせる

【指導案】

	指示・発問	資料	獲得させたい知識（下線部は実際の生徒の意見）
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○年末年始は、何をしていましたか？ ○テレビを見ていた人も多いようですが、ここにあるテレビや新聞をカタカナで何とこののでしょうか？ ○マスメディアの役割（イメージ）について書いてみましょう。 ○本時は、マスメディアの役割について考えていきます。 		<ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな意見。 ○マスメディアである。大衆に向けた情報を発信する媒体（情報発信装置）という意味である。 ○さまざまな意見。<u>情報を得るための手段。楽しむために使うもの。</u>
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○2014年12月に衆議院議員総選挙が行われました。この資料①は、何について、どのようなことが書かれている新聞記事ですか？ 【読み取り・解釈】 ○なぜ、インターネットを利用した選挙活動が行われたのでしょうか？ 【説明】 ○教科書p.75のコラム「技能をみがく 報道から事実と意見を区別する」を見てみましょう。 ○資料③は今回の選挙のことをどのように伝えていると考えられますか。考えた理由の根拠を明らかにして答えましょう。 【読み取り・解釈・論述】 ○このことから、マスメディアにはどのような役割があると考えられますか。 ○マスメディアの光と影について考えましょう。 【論述】 ○なぜ、新聞には政府に対して批判的な内容が多く書かれてあるのでしょうか？ 資料⑤を参考に考えましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ① ② ③ ④ ⑤ 	<ul style="list-style-type: none"> ○選挙に関することが書かれている。具体的な内容は、2014年12月14日に行われる衆議院議員総選挙に向けて、各政党がネットで宣伝活動を行ったという内容が書かれている。 ○<u>ネットを使っている人が多いため、各政党のPRを閲覧してもらえる可能性が高いため、これにより、無党派層の支持を得ることが出来る可能性が高まるため。</u> ○情報には、情報発信者の思想が反映されているため、情報を得る際には事実と意見を区別することが重要である。 ○<u>批判的に書かれている。その理由は、安倍政権のための衆院解散総選挙だったと書かれてあるし、選挙があったからといって何かが変わったわけでもないという内容の文章だから。</u> ○世論（政治に対する国民の意見）をつくり、政治に反映させる。政府や政党の動向を見守る役割がある。 ○【光の部分】・・・<u>情報を得て、自分の考えを深められる。世論が深まることにつながる。</u>知る権利の保障のために重要な役割を果たすもの。 【影の部分】・・・<u>なければ、情報を得にくい。頼りすぎている部分があるので、自分たちで情報を得にくい。情報がかたより、公正でなくなる可能性がある。</u> ○政府が、マスメディアを統制する可能性が出てくるかもしれないから。<u>戦争につながる可能性があるから。</u>
終結	<ul style="list-style-type: none"> ○マスメディアの役割（イメージ）について、政治に着目して説明してみましょう。 		<ul style="list-style-type: none"> ○<u>世論を決めるカギ。人の心や国を動かす可能性があるもの。気をつけて扱わなければいけないもの。</u> 【評価の場面】
<p>【資料】①朝日新聞朝刊2014年11月30日 ネットの支持争奪戦 ②『社会科 中学生の公民』p.75 ③神戸新聞朝刊2014年12月15日社説 ④『社会科 中学生の公民』p.74 ⑤『社会科 中学生の歴史』p.209</p>			

ことができた。

展開部では、資料について、読み取り、解釈し、説明し、論述する学習活動を、二つの新聞記事（資料①と③）を使用して行った。まず、資料①からインターネットを活用した選挙活動が行われたことを読み取り、インターネットによる選挙活動が行われたことは無党派層の支持を得るために行われたということを確認した。次に、資料②として教科書p.75のコラム「技能をみがく 報道から事実と意見を区別する」に注目させ、社説には情報発信者の思想が反映されていることを確認した。その後、資料③の社説から、2014年12月に行われた衆議院議員選挙をどのように伝えているのかを、肯定的、否定的、どちらともいえないという選択肢のなかから自分の意見に近いものを選び、選んだ理由を記入した。ほとんどの生徒は、資料③の社説には、今回行われた選挙について、その文面から否定的な内容が書かれていると解釈していた。そして、マスメディアの役割について、教科書の記述で確認したのち、マスメディアの光と影の部分について考えていった。生徒からは「光の部分は情報を得て、自分の意見を深められる→世論が深まる」という意見があり、このことから自分自身の考えの深まりが、世論の形成につながっていくことに気づいていることがわかる。また、影の部分について検討するために、歴史の教科書でマスメディアを取り扱っている部分をヒントにするように指示した。つまり、政府が行うことに対して社説に批判的に表現されている理由の一つは、マスメディアを政府が統制することによって戦争につながっていく可能性があるからであることに気づくことができた。

終結部では、導入部で考えたマスメディアの役割について、学習した内容をふまえて再

度考え、記入していった。生徒が記入したものを、観点④知識・理解で評価を行った。評価の方法としては、形成的評価を行った。具体的には、全ての生徒が政治に着目してマスメディアの役割について意見を記入できているかどうかを授業後に回収したワークシートで評価を行った。内容が不十分な生徒については、翌日の授業でマスメディアの役割についてグループで確認させ、補足説明を行ったのち、再度ワークシートにマスメディアの役割について記入させ提出させた。

おわりに

生徒が、授業前と授業後にマスメディアの役割について考えた結果が次に示したものである。

授業前	情報を得るための手段。楽しむために使うもの。
授業後	世論を決めるカギ。人の心や国を動かす可能性があるもの。気をつけて扱わなければならないもの。

記述内容からこの生徒は、マスメディアについて、常識的でばくぜんとした見方や考え方から、「世論を決めるカギ、人の心を動かす可能性をもっているため、扱いに注意すべきもの」という質の高い見方や考え方へと変化していったことがわかる。今後、正しい答えを導き出すことが難しい社会問題を取り上げ、意思決定させたり合意形成を行ったりする授業が求められることが予想される。だからこそ、生徒にはよりよい判断を行うために、重要な役割を果たす社会的な見方や考え方はぐくんでいきたい。

【注】

- 1) 岩田一彦・米田豊編著『言語力』をつける社会科授業モデル中学校編 明治図書、2011年、pp.24-25。
- 2) 桑原敏典『小学校社会科改善への提言「公民的資質」の再検討』日本文教出版、pp.39-45。